

活動計算書

令和7年5月1日から令和8年4月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 プラットフォーム

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	30,000		
賛助会員受取会費	0	30,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	765,656	765,656	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	2,940,000		
受取国庫補助金等	3,510,000	6,450,000	
4. 事業収益			
訪問看護	0		
	0	0	
5. その他収益			
受取利息	4,683		
受取配当金	0		
雑収益	551	5,234	
経常収益計			7,250,890
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,298,351		
法定福利費	107,482		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	3,405,833		
(2) その他経費			
消耗品費	65,167		
業務委託費	190,724		
通信運搬費	155,261		
印刷製本費	8,991		
地代家賃	1,970,000		
支払手数料	8,000		
旅費交通費	372,350		
保険料	61,405		
その他経費計	217,612		
事業費計		6,455,343	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
接待交際費	0		
旅費交通費	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	0		
管理費計		0	
経常費用計			6,455,343
当期経常増減額			795,547
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 固定資産売却損		0	
固定資産除却損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			795,547
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			795,547
前期繰越正味財産額			3,038,037
次期繰越正味財産額			3,833,584

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

活動計算書

令和7年5月1日から令和8年4月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 プラットフォーム

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	0
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	0
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
受取国庫補助金等	374,000	374,000
4. 事業収益		
訪問看護	8,463,660	
	0	8,463,660
5. その他収益		
受取利息	0	
受取配当金	0	
雑収益	0	0
経常収益計		8,837,660
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	6,357,505	
法定福利費	794,529	
退職給付費用	0	
福利厚生費	5,675	
人件費計	7,157,709	
(2) その他経費		
消耗品費	185,362	
業務委託費	110,874	
通信運搬費	110,396	
印刷製本費	0	
地代家賃	0	
支払手数料	749,678	
旅費交通費	247,316	
保険料	26,850	
その他経費計	272,136	
事業費計		8,860,321
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
接待交際費	0	
旅費交通費	0	
減価償却費	0	
支払利息	0	
その他経費計	0	
管理費計		0
経常費用計		8,860,321
当期経常増減額		-22,661
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益	0	
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 固定資産売却損	0	
固定資産除却損	0	
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		-22,661
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		-92,661
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		-92,661

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。